

教科	理科	科目（単位数）	化学基礎（2）	学年	3	類型	文I
----	----	---------	---------	----	---	----	----

学習目標	①原子の構造，電子配置と周期律の関係及び，化学結合のしくみについて理解できる。 ②化学反応の量的関係，酸と塩基の反応及び酸化還元反応の基本的な概念や法則が理解できるとともに日常生活や社会と関連付けて考察できる。
------	--

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考査	1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素 2章 原子の構造と元素の周期表	①多様な物質について，整理・分類し，共通した要素や，個々の相違点を調べ，物質の成り立ちを理解する。 ②物質を構成する基礎的な粒子である原子について理解する。③元素の性質から考え出された周期律と，それを一覧にした周期表の特徴を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間～ 期末考査	1編 物質の構成 3章 化学結合 2編 物質の変化 1章 物質質量と化学反応式	①イオンからなる物質の種類や表し方・特徴的な性質を理解する。②共有結合のしくみを理解し，分子式をはじめ電子式や構造式が書けるようになる。③金属結合について理解する。④物質の質量と，物質を構成する原子・分子・イオンなどの質量や数との関係や，気体についてはさらに体積との関係を学び，物質質量の考え方を身につける。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末～ 2学期 中間考査	2章 酸と塩基	①酸・塩基の定義や酸性・塩基性について，その本質が何であるかを考え，酸性・塩基性の強さの度合いの表し方を理解する。②pHの表し方・中和の量的関係を学び，中和によって生じる塩の水溶液は必ずしも中性でないことにもふれ，理解を深める。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間～ 期末考査	3章 酸化還元反応	①酸化・還元の定義を理解し，電子の授受によって考えられる現象として酸化・還元を学ぶ。その場合，酸化数という便利な指標を用いて酸化・還元を統一的に考え，理解を深める。②電池の原理と反応について理解する。③電気分解の原理と金属のイオン化傾向，ファラデーの法則について理解・習得する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末～ 3学期 学年末考査	総合演習	・化学基礎の内容を総復習し、基礎を固め、さらには発展問題の演習を行い、既習内容の理解を深める。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	東京書籍「改訂 化学基礎」
学習方法	授業と復習
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業での活動の取り組み